



2021年8月4日

各位

会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 邦光
(コード番号：4847 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 藤澤 由裕
(TEL. 03-6222-7015)

中期事業計画の策定に関するお知らせ

当社は、2020年8月5日に開示した中期事業計画(旧計画)を見直して、2022年6月期から2024年6月期に至る中期事業計画(新計画)を策定したので、お知らせします。

記

(新計画)

(単位：百万円)

	2021年6月期 (実績)	2022年6月期 (予想)	2023年6月期 (計画)	2024年6月期 (計画)
売上高	11,187	12,000	13,500	15,000
営業利益(率)	1,130 (10.1%)	1,320 (11.0%)	1,750 (13.0%)	2,250 (15.0%)

(旧計画)

(単位：百万円)

	2020年6月期 (実績)	2021年6月期 (予想)	2022年6月期 (計画)	2023年6月期 (計画)
売上高	10,920	11,000	12,000	13,500
営業利益(率)	1,036 (9.5%)	1,150 (10.5%)	1,250 (10.4%)	1,500 (11.1%)

見直しの理由

2021年6月期業績について、当社は、(旧計画)でほぼ予想どおりの業績を達成しました。

当社は、さらなる事業規模の拡大と収益力の強化を目指して、経営環境を総合的に検討したうえで中期事業計画(旧計画)を見直し、本日開催された取締役会で(新計画)を決議しました。

新型コロナウイルス感染症による悪影響はなく、当社のシステム開発業務やシステム運用業務の継続性に対する大きな影響はありません。現在のところ当社の生産活動は順調に推移しています。

当社は、当社が提供するシステムを、オンプレミス型に加えてクラウドを利用したサービスも提供できる事業形態へ転換を進めています。

従来のオンプレミス型の受託開発は、契約の規模や売上の計上時期が案件によって異なるため、「フロー型」のビジネスに分類されます。一方で、クラウド利用のサービスは、継続的な契約期間内に安定した収益が期待できるビジネスとして「ストック型」と分類されます。

従来の「フロー型」を中心とした収益形態だけでなく、持続的な収益性が期待できる「ストック型」のビジネスを加えることで、安定的な収益基盤の拡大を進めています。

金融業界以外の事業会社が、商圈拡大のために顧客向けに新規に決済サービスや金融サービスを提供する動きがあります。また、当社の顧客企業が、新規事業の迅速な起ち上げのためにクラウドサービスを利用する等の動きも見られます。

当社は、これまで、クレジットカードの業務のひとつであるアクワイアリング(加盟店管理)業務のシステムを中心に、クレジットカードの不正検知業務等、従来オンプレミス型で提供していたシステムをクラウド利用型へ展開してきました。顧客は、当社のサービスを利用することで、大規模な初期投資を必要とせずに事業を迅速に起ち上げることができます。そのため、金融業界以外の事業会社や、従来カード事業を行っていなかった企業のカード事業への新規参入を促しています。

クラウドサービス事業は、当社にとっては、新規顧客獲得と事業規模拡大の重要な事業に成長しています。同事業は、2022年6月期の収益黒字化の見込みを経て、今後大きな成長を見込んでいます。2024年6月期までに、当社の主要な収益源としての成長が期待できます。

また、当社は、これまで金融業界の開発業務で培った知識と経験を利用して、金融業界以外の企業向けに新製品を開発、新市場の開拓にも挑戦しています。大量データのリアルタイム、高速処理を基盤にする当社の技術で、異業種の業務における潜在的な課題を発見し、解決することで新市場を開拓し、新しい収益の柱として育成します。

(新計画)は、2024年6月期に、売上高 15,000 百万円、営業利益 2,250 百万円(営業利益率 15%)の達成を計画しています。

以上